

第3期 亀崎地区ささえあい活動計画
(2025年度～2030年度)

住んでよかった あたたかいまち (亀崎・有脇)



亀崎地区介護予防・生活支援協議会

これまでの歩み

第2期の亀崎地区ささえあい活動計画をもとに、さまざまな取り組みを行いました！

より身近な地域での「つながり」を作る



中学生が地域で活躍できるしくみづくり

土日の部活動が廃止となり、中学生の活躍の場・居場所づくりが必要です。「同じ地域に住む人を知り、つながる」「互いに声をかけ合える関係づくり」につながっています。



自分の「できること」を増やすきっかけづくり

自分の生活や地域での活動で生かせるスキルとして「網戸張り」や「おかたづけ」等を学ぶ講座を実施しました。さまざまな世代の方が参加しました！

住民が活躍・集う場の応援

「近くに気軽に集える場があったら…」 「地域の居場所を作りたい」という声をもとに、地域のみなさまとともに集いの場づくりをしています。



地域の「つながり」や「地域活動」を多世代にひろげる



地域の活動を知ってもらうしくみの継続

亀崎中学校区内で活躍するさまざまな団体・施設を知ってもらうため、広報紙「さあ！あなたの出番です！」を年に1～2回発行しています。

市内高齢化率1位でも、安心して暮らせるまちの実現

身近な地域で相談しやすい環境づくり

学校区内のふくし事業所や亀崎地区民生委員児童委員協議会とともに、相談しやすいしくみづくりや周知・啓発をすすめています。



誰もが、出かけたい場所に出かけられるしくみの検討

新たな移動手段についてのしくみの検討

亀崎地区の移動手段の見直しのために発足された「亀崎地域バス会」に構成員として参加し、地域住民の声や情報を伝えました。

また、移動手段について地域住民に情報提供をしています。



「住んでよかった あたたかいまち」に向けて…

亀崎中学校区のみなさまを対象にしたアンケートに、892名の方々にお答えいただきました。
地域のみなさまの声をもとに、どのような取り組みを進めていくかをまとめました。

地域のみなさまの声

地域活動やボランティア活動に関心がある！

友人や知り合いがおり、雰囲気の良さそうな活動に興味がある！

ご近所同士、世代を問わずにいつも声がかけあえるといいな。
人との交流の場があるといいな。

免許返納後も安心して買い物や通院がしたい。

災害時にもささえあえる地域がいい！
自分や家族の健康、介護に不安がある。

ちょっと困った時、家族以外に相談できる人がいるまちが良いな。

取り組みたいこと

地域の「つながり」や「地域活動」を多世代にひろげる

- ・ 若い世代が地域住民とともに地域で活動できる機会づくり
- ・ 地域活動者や団体の活動を知ってもらう取り組みの継続
- ・ 日常や地域で生かせる「できること」を増やす機会づくり

身近な地域での「つながり」をつくる

- ・ 歩いて行ける距離にある交流の場の検討、開設
- ・ 地域の交流の場の啓発・参加の機会づくり
- ・ 子どもから高齢の方までが交流できる機会づくり

安心して生活できるまちを考える

- ・ 地域課題となることが予想される事柄を住民と共有し、一緒に考える機会づくり
- ・ 地域住民の不安の解消につながる情報の発信
- ・ 地域住民から生活における困りごとや不安を聞き取り、行政や関係機関につなげる（移動、災害、健康、介護 等）

ちょっと困ったときに気軽に相談ができるしくみの継続

- ・ 身近な相談窓口の啓発（講座、広報等）
- ・ ふくし事業所職員と地域住民の顔の見える関係づくり
- ・ 困っている人に気づき、つなげられる人材の育成

目指すまちのすがた



- 大人も子どもも、身近な地域で気にかけあい、ささえあうことができるまち
- 地域の中で役割を持ち、元気に楽しく暮らすことができるまち
- 地域での不安なことをみんなで考え、安心して生活が送れるまち
- ちょっと困ったときに、気軽に相談することができるまち

亀崎地区ささえあい活動計画とは



亀崎地区介護予防・生活支援協議会では、亀崎中学校区に住むすべての住民が、住み慣れたまちで、安心して暮らし続けることができる地域を目指して活動しています。

平成30年度、令和3年度に、地域のみなさまを対象に実施したアンケート調査結果をもとに、「亀崎地区ささえあい活動計画（第1期、第2期）」を策定しました。

まちづくりの目標を「**住んでよかったあたたかいまち**」とし、地域のみなさまの協力を得ながら目標達成に向けて活動を進めてきました。



免許返納後の移動手段など、生活の中での不安な声を受け止め、話し合っています。

若い世代も一緒に取り組める活動を考えます！



地域にある活動や居場所に参加しやすいしくみを検討しています。



亀崎中学校区の特徴を生かした取り組みを考えていきたいです。

亀崎地区介護予防・生活支援協議会では、「こんなまちになるといいな！」を考えていきます。



亀崎地区介護予防・生活支援協議会 委員(敬称略) ※2025年3月末時点



原伊津子(亀崎区長会) / 近藤倉治(有協ふれあいセンター)
加藤雅俊(亀崎地区民児協) / 加藤博史(株式会社ナチュラル)
大橋多加予(半田亀崎つながりハウスみづほ) / 間瀬桂子(久栄丸呉服店)
溝口昭弘(亀崎思いやり応援隊) / 毛受琢登(ときわ調剤薬局)
水野知己(亀崎中学校) / 中村泰久(日本福祉大学健康科学部)
藤牧実(元亀崎地域総合福祉センター) / 川部竜士(日本福祉大学半田事務部)
半田市 / 半田市社会福祉協議会